（大正十四年三月二十二日第三種郵便物認可）

夕刊　一月七日發行
定價 一ヶ月 金六十五錢
發行所 磐城新聞
（日曜祭日翌日休刊）

# 關西だより（中）

青木淳

先年、平から山宗の元三郎さんが來られて、私の家で正月を迎へた事があるがそのときこの白味噌の雜煮を一杯たべて、二杯目には閉りぬいたエピソードもある位であり、從つて他のおかづになるものは御馳走らしいものがない、習慣として蛤の吸物、ブリの燒いたものをつけ、お茶〆はいづこも同じといふ所である。屠蘇を用ゐる家は少ない、酒を少しづゝ頂く位であり雜煮を祝ふ前に昆布と小さい梅干を入れたものに、お湯をくみ入れてそれを呑むのであるが、これは大福茶といつてこれも緣起をかついでゐる爲故でもあらう、とに角、梅は櫻どちがひ實がなるといふ縁らしい、最近は金柑と銀杏の實と蕗の薹を、煮込んだものを用ゐる事が流行してゐる。これは金、銀を得、更に富貴となるといふ慾深い意味らしい、とに角雜煮を祝ふてから風呂に入りに行くものや惠方にあたる神々に詣でるものがあり、一般の家でも（商家は勿論）つもごりは早くから寢るものは少ない。元旦は戸を締め切り名刺受を吊るして置いて、寢正月と稱して家內中寢てしまふ。たゞ子供等だけは、そとで美を競ふて正裝して、嬉々としてあそびたはむれてゐる。途先年までは鴨川友禪のいとも、美しい晴着をつけてゐたものだ、今では洋裝ばやりで優雅な友禪モヨウがすたれて、行くのが時代の推移とは言ひ乍ら何かなしに京都なればこそ、うらさびしい氣がしてならぬ

門證者は、例の名刺受に自分の名刺をさし込んであるいて、それで年賀の挨拶に替へるので、それもこのごろは丁稚がチラシでもくばるやうに、各戸ごとに主人の名刺を入れてあるくにすぎないから全くの虛禮にすぎない。

とても東北地方のやうにお年始に來たといふて酒をのみ、馳走になりゆつくり歌など唄つたりするやうなゆとりのある新年は見られない、よほどの懇意なものでないと御馳走にありつけない。馳走といふても例の蛤のおつゆに、鯛のやいたのにお酒位、これでは歌もても見られない。出す『おおきに御馳走さんです』とお禮をいふて出ゝだけ損が行くやうなものである、しかし神詣りは盛んなものであり、就中伏見稻荷は人の山であり、それにつゞいて石淸水八幡、桃山御陵等であらう、この惠方詣りをあてこんで鐵道始め各郊外電車では沿線の神社を宣傳し、或は乘車賃を割引等して客の吸引策に狂奔してゐる。

實に京都の正月は戸をしめて中にひつこんでゐる。この三ヶ日には、ほとんど花骨牌をやつて、一本二本と勝負を爭つてゐる。警察でも家庭的のものなら大目に見てゐるらしいやうに考へらるゝが、四日にもなるとやらなくなるらしい。京極の活動寫眞小屋等は大へんな人で、いままで十錢で入れた萬歲さへ二十錢に値上げといふ有樣でこの正月にしこたま儲けるらしい。

とに角京都の正月はさびしい、そしてさむい、考へてみると磐城よりもはるかに冷ゆるが、磐城のやうに唐風が吹かないから、うなりをつけた大凧のかげはと

## 磐新歌壇

小山田滋選

竹が二三本　友常幸一

○單純な生活に單純な雨！つぐみが啼いてゐる樫の木に雲がひつかゝつてゐる
○單純な生活、風、ひかる木の葉、空、わたくしの手に泌みこめ
○山にむかつた窓をあけつぱなして樫の木をうけいれてゐる。つぐみの聲

『友に』　中川浩

○幾年か家を出にける吾が友は入營するとて歸へり來にける
○荒き社會に人となりける吾が友は言葉もいたく悄々じかる

宸題恭賦（朝海）　渡邊清

潮頭紅湧曙光催
搖曳雲霞瑞氣回
星使有人宣聖旨
定知群小啓蒙來。

思慕　青山貞三

寒む寒むと
ストウブを圍み居る頃
吾れ君を知れり
君われをいたわりて
弟と呼べり
孤り育ちし吾れ
こよなく悅しかりき

然れども
吾れ君を姉と慕ひしは
あまりに悲しき
年を經し吾れ
年と、も心育らぬ
ひたぶるに君を慕ひて
怪しく狂ふ日の
多きぞ何如にせん。

## 大學語釋

○故に身を修めてこの私慾を拭ひ去り明德をして再び燦然たる光明を放たしむる必要あり、之を明德を明にすと云ふ（親民）民に親むと讀む人もあるも新と同じとして『あらたにす』と讀む………

## 新刊紹介

△短歌普選（新年號）全歌壇への開放機關、新人唯一の登龍門と銘打つた淸新な雜誌、隨筆山荘より（大畠遥村）祝詠、當選歌雜詠、作品の過程と價値（靑木淳）其他短歌に關する記事多數（一部三十錢税二錢東京市淀橋區淀橋六八短歌普選會發行振替東京七〇三二五）

## 社會の今日

1月8日

△觀兵式の始（明治五）△天皇陛下、陸軍始觀兵式より還幸の御途次一鮮人兇徒に爆彈を投ぐ 陛下御異狀あらせられず△不祥事件の責を負ひ犬養內閣總辭職に決し辭表を捧ぐ△駐日支那公使蔣作賓辭表提出△佛國外相ブリアン氏辭職（昭和七）

○

先生もマスクをはめてすべつてる・二尺も凍つた八戸の沼　高口彌生

かの翁猶ほ生きて來し年賀かな　波空

## 講談　お蘭陀お蝶

(220)　渡邊默禪作　布施長春畫

縋つた袖を振放したが、兇ひ追つて蒐るともなく娘のえりくびに懸つた腕、ずる〜〜と一間許り曳摺つていきなり其處に押据えたが流石に義理のある娘、揮上げた拳はいたづらに己れの懷中に這つて、ぶる〜〜と身顫ひしながら切齒をした。

『エツ、どうして這麼に强情のやら……ア、お柳さまに聞かせたい、聞かせたい！』

押据へられたなりに芝生の上へ頽れて、お蝶は潜々と泣いた。

『コレ、與平、如何いたした』

龍馬は見かねて木蔭から出て來た。

『お庭先で父子のいさかひ餘り見好いものではない靜甫にせい〜〜』

『おう、坂本の旦那さま是れは飛んだ所を』

與平は体面惡さうに天窓を掻いて

『いやもう、實にお話しの出來ないやうな仕誼でござりましてな、アバ、、つい腹が立つので出したくもない手が……』

『いや、その話しは大畧聞いた』

『えツ、お聞きになりましたか』

『なにさ、聞いても大事ない、それは道理千萬な儀と察しるが、併しお前のやうに儞う短兵急に迫つても若い娘のことぢや、なか〜〜承知はせまい、よい、身共が仲裁をして遣らう、任せろ〜〜』

『尊公さまが御仲裁を……そりやあア有難いことで』

與平は悅んで凡てを龍馬に任せ、自分は一旦勝手元の方へ引返して、その結果を待つことになつた。龍馬は近くにあるあつまやにお蝶を呼入れた。

其の時栽込し間から出て來た女がある、忍び足であつまやの後へ寄つて二人の話に耳を欹てた。

『一体如何したといふのぢや』

龍馬はあつまやの濡椽に腰を下して、その前にしやがんだお蝶に優しく話しかけた。

『只今立聞いたところに依ると、何か其方の出世になる耳寄な相談が降つて湧いたのを、氣に染まぬと申して振りつけた樣子ぢやが、いさかいの原因はそれであらうの』

『はい爾うどす、どないに云ふても聞分がないもんやからついなア……』

お蝶は体面惡さうにふし目になつて、微聲で答へた——泣いたので白粉剝はしないかと氣にしながらも男の手前流石に懷中鏡を出し兼ねて、もじ〜〜しながら

『お公卿さまが如何やう致したとか、宗哲どのが何したとやら、其の樣なことをチラリと耳に入れたが、お公卿とは何誰のことぢや』

『えゝ、アノそれはな』

言ひ難くそうに猶豫ひ

『アノ若——若さまぢやと言ふのどすえ』

『ねッ、若さまが……フム！』

龍馬は驚いて

『若さまが其の方を御部屋の方にお取立になると、御意があつたんぢやな』

『如何やろか、深い譯は知りまへんがな、宗哲さまが儞う言ふてぢやと、お父はんから聞きました』

龍馬は眉をよせて考へてゐたが、軈て扇子で小膝を打つて、むゝと頷きながら北叟笑んだ。

『では宗哲どのゝお取持と相見える、何にせ結構な話しぢや、其方に取つては願ふてもない幸福ぢやのに、何故お斷りを申し上げたのか、心得んことぢやの』

お蝶は怨めしさうに男の顏を瞻つたが、上から覗おろす目と憂合ふと慌てゝ下を向いて默つて袂の稜を手弄つた。

## ラヂオ

仙臺JOHK　…八日…（日曜）…

△前九、〇〇A 氣象
△九、一〇 料理獻立（辨當一、タラコまぶし里芋）榮養研究所
△九、三〇H （子供の時間）（軍歌）步兵第四聯隊內海軍曹外三十名
△九、四五A 陸軍始觀兵式御模樣 講演（皇軍の本質を回想す）陸軍省新聞班長陸軍步兵大佐本間雅晴（佐々木練兵場より中繼）
△正午A 時報 氣象
△後H 第二師團凱旋狀況…第二日（仙臺驛頭より中繼）
△一、二〇F （福山左義長節）（諸國俚謠大會）
△一、三五H （一、津輕祝歌 二、仙臺節）
△一、五〇H （追分節）
△二、〇五K （備中酒造唄）
△二、二〇B 運動競技（慶大對同志社ラグビー試合狀況）
△三、四〇A 氣象
△六、〇〇B （子供の時間）ラヂオ紙芝居（にはとりのよろこび）
△六、三〇H 講演（武勳赫々たる凱旋將兵を迎へて！）東北帝大總長理學博士本多光太郎
△七、〇〇A ニュース 氣象
△七、三〇H 喜多流謠曲（鉢の木）
△七、三〇H 琵琶（寛城子の變）根本芝水
△八、三〇 長唄（楠公）
△九、〇〇 民謠（さんさしぐれ）外七種
△九、三〇A 時報 ニュース 氣象

吉田眼科病院

## ▲乘用自動車貸切賃金表（五人乘一臺）（平町基點）

市內—市內五〇　市內往復八〇　中バス一、〇〇　大バス二、〇〇　バス往復六割增

湯本植田方面—小島六〇　御厩八〇　綴一、〇〇　宮一、五〇　湯本一、五〇　下湯長谷二、〇〇　田邊二、五〇　泉、三〇〇　泉（小名濱廻）三五〇　植田三、五〇　勿來四、〇〇　窪田四、五〇

江名方面—中山八〇　上高久一、〇〇　下高久一、三〇　沼の內一、五〇　豐間二、〇〇　江名中ノ作二、五〇

小名濱方面—下矢田一、二〇　走熊（七本松）一、五〇　小名濱二、五〇　片濱廻一周五、〇〇

四倉—鹽野八〇　草野驛一、二〇　新舞子一、五〇　夏井（學校附近）一、五〇　仁井田一、八〇　四倉二〇〇　波立二、五〇　玉山三、〇〇　久ノ濱三、〇〇

小川方面—曲田七〇　平窪（江筋迄）一、〇〇　關場一、五〇　小川鄕驛二、〇〇　福島炭礦二、〇〇　片石田二、〇〇　江田三、五〇　川前四、〇〇

赤井方面—赤井驛附近一、〇〇　獄下一、五〇

好間、澤渡方面—中好間八〇　立坑一、〇〇　町田一〇〇　元山一、二〇　大利二、〇〇　成澤三、〇〇　合戶三、〇〇　渡戶四、〇〇　澤渡五、〇〇　三坂七、〇〇

上遠野方面—藤原二、〇〇　上遠野四、〇〇　入遠野五、〇〇

## 貨物自動車貸切賃金協定表（平町基點）

東京方面—綴二、〇〇　湯本二、五〇　宮二、五〇　泉四、〇〇　植田五、五〇　勿來六、〇〇　平潟七、〇〇　大津七、五〇　磯原八、五〇　高萩一〇、〇〇　助川一三、〇〇　久慈一五、〇〇　湊二〇、〇〇　磯濱二〇、〇〇　水戶二〇、〇〇　土浦三〇、〇〇　東京四〇、〇〇

江名方面—下高久二、五〇　沼ノ內三、〇〇　薄磯三五〇　豐間四、〇〇　江名四、五〇　中ノ作四、五〇　小名濱四、五〇

仙臺方面—草野二、〇〇　四倉三、〇〇　久の濱四、〇〇　廣野七、〇〇　富岡一〇、〇〇　長塚一二、〇〇　浪江一三、〇〇　小高一四、〇〇　原ノ町一六、〇〇　鹿島一八、〇〇　中村二〇、〇〇　仙臺三五、〇〇　鹽釜三八、〇〇　石ノ卷四〇、〇〇

中通方面—小川三、〇〇　川前六、〇〇　小野新町一〇、〇〇　舟引一五、〇〇　三春一六、〇〇　郡山一七、〇〇　須賀川一七、〇〇　本宮二〇、〇〇　二本松二三、〇〇　福島二五、〇〇　若松三〇、〇〇　上遠野五、五〇　竹貫一〇、〇〇　石川一四、〇〇　白河一八、〇〇　太田原二八、〇〇

兩毛方面—下館三〇、〇〇　宇都宮三五、〇〇　桐生四〇、〇〇　足利四〇、〇〇　前橋四五、〇〇　高崎四五、〇〇

澤渡方面—赤井二、〇〇　立坑二、〇〇　元山二、五〇　永戶六、〇〇　澤渡七、〇〇　三坂一〇、〇〇

市內—家越二、〇〇　普通一、五〇

各位

八年一月一日

福島縣自動車協會平支部

御料理　八千代
平町田町　電話三七五番

金銀高價買入
純金九圓十五錢買入
大判　廿二金　八圓〇〇錢
　　　廿金　七圓〇〇錢
小判　十八金　六圓四〇錢
　　　金瓷　七圓三〇錢
以上一匁ニ付
尚相當御持合せの方には特に御相談致します！
金光堂時計店
平五電一九五

貸切ノ御用命ハ
イツデモ眞先ニ（松崎ニ）
三九ニタクシーへ
（デンワ、ミクニ）

淋藥界の最高權威
無効返金（二日間服効なき時は藥引替に全部返金す）
別府淋藥
一週間…赤箱—金五圓　黑箱—金參圓
世界の名湯別府溫泉で名高い。岩里家の家傳祕藥は男女血ウミ、コシケ、淋病消渇に奇蹟的効果ありどんな頑固な痳疾でも短時日に根治が出來且つ再發することなく注射や他藥で治らぬ諸賢は最後の藥として迷はず……名藥別府淋藥の御服用に依り幸福を得られん事を希望致します。
別府皮膚藥　金三十錢　金五十錢
天下の名湯別府溫泉のラヂウム含有の精に各病醫院及最高學府の處方劑集め大成せる皮膚病特効藥であります、たむし、いんきん、みつむし、なますじらくも等其他皮膚病に卓効あり。
九州別府市鶴乃園　岩里天然堂
代理店　平町三丁目北裏通り　渡邊いと
（特約店募集）

●純毛シャツ、セーター類特賣●
●もだんショール、ネクタイ陳列●
●純良毛布特別廉價提供！●
中野洋品店
平二・電五三

◎日本石油株式會社特約店
ライジングサン石油株式會社重油特約店
關彰商店平支店
本店　水戶線下館驛前　電話六一番
（電話五五番）
營業種目
石油揮發油輕油、重油、モビール油、マシン油、機械油類、胡麻、種油、植物油、コールタール、カーバイト、石炭、コークス、ストーブ……
〔型錄進呈〕
支店所在地
茨城縣土浦町田宿（電話六五三）
常磐線關本驛前（電話八二四）（電話平潟五四）
常磐線四倉驛前（電話四八）
◇安全、便利、經濟のスタンダードナ石油コンロ
◇完全燃燒のネンショーストーブ

專門　一般內科
內科ハ何デモ診療致シマス
呼吸器病バカリデハアリマセン
平町南町六五（電話一八一番）
川井內科診療所
醫學士　川井重安
女醫　川井之子

# 春訪れし滿洲から　二

## 勇士の賀狀色々

### 奉天にて　井上榮市君（平町出身）

—顧れば一、九三一年。我が砲聲響きわたり、幾多の死線を越えて此度師團と共に歸國致し、皆樣と相見ゆるを得るは天佑の然らしむる處で有ります そして甚大なる御後援の賜と信じて居ります、玆に年頭に臨みて皆々樣の御健康と御多幸を遙々滿洲國より御祈り申上げます。

### 同　草野忠君（小川出身）

—渡滿以來已に二星霜此の間東亞に風雲急を告げし事變も皆樣の多大なる御後援と御鞭撻とに依り大過なく邦家の爲に働き得たる事を衷心より感謝仕り居り候、新京に五色の旗風に飜り新滿洲國家の成立を見和氣靄々の中に新春を迎ふ實に歡喜の至に堪へず候、今回吾第二師團は駐劄交代の命を受け聯隊は思ひ出多き滿洲を後に幾多尊き英靈と淚の別れを告げ祖國へ歸還する事と相成申候（後略）

### 吉林にて　菅野淺雄君（平町出身）

—千里同風、萬方同軌、朔風肌を裂く北滿の天地にも新春は訪れました。いはゆる我等の生命線——滿洲警備の任にある私達にも流石に和やかな氣分が漲つて居ります。幸に私も元氣でその任務について居りますから御安心下さい。申し遲れましたが貴家も御淸福の事と存じ上げます。年新まり益々御壯榮の程遠く北滿より祈り居ります。

外に洮安小野豊（飯野）、奉天久野喜一（內郷）、涓城草野利榮（澤渡）の諸君からも懇篤な賀狀を寄せられた。

# 今朝平驛に渦巻く萬歳と歡呼の嵐

## 凱旋第一陣を承る野砲工兵兩隊の平驛通過

駐滿二十二ヶ月酷暑、嚴寒と戰ひつつ帝國の生命線たる滿洲警備の任に當つて其間赫々たる武勳をたて今回目出度原隊へ凱旋する多門第二師團の凱旋第一陣を承つた野砲兵第二聯隊並に工兵隊、野砲大隊、工兵隊將卒の乘れる輸送特別列車は在鄕軍人聯合分會、靑年團女子靑年團、愛國婦人會、各學校生徒、各團体の萬歳と歡呼に迎へられて今七日午前五時五十分、同十時四十分の二回に亘つて平驛ホームに著いた各將兵は幾度か死線を越ゑて匪賊討伐に武勳を立てたとは思はれぬ晴れやかな顏である。

○在鄕軍人分會では譽れの勇士に心ばかりの祝をなすべく構內に於て菓子、手拭等をそれ〳〵將兵に贈つたが更に長途の勞を犒ぶべく菰かぶりをぬいて酒の馳走をなしたが全く感激の渦巻であつた列車は約三十分停車して再び萬歳と歡呼と小學兒童の打振る旗の波に送られて一路原隊へ驀進したが去るに臨んで各團隊長は『貴地方からかくの如き熱誠なる歡迎を受けた事は身にあまる光榮である、將兵に代つて厚くお禮を申述べる』と挨拶をなした

前十時四十分平驛ホームに現れて戰友を歡迎した吉田君は昨秋北滿に於て匪賊討伐中名譽の負傷をなし遂に右手を失し今朝一足お先きに病院から除隊したのであるが吉田君を一目見た戰友達は『吉田君どうした』『大丈夫か』と元氣に心つけた爲鬼をもひしぐ吉田君も淚を流して喜び全く劇的シーンを展開した。尙最も感激させられた事は湯本町出身の故西牧伍長の母堂を大谷大佐はわざ〳〵平驛頭に招き母堂に對して種々なぐさめの言葉を與へた事であるが居並ぶ出迎への人々も大佐の心やりには淚を流してゐた。

# 遺族を呼んでなぐさめの言葉

## 平驛頭の劇的シーン

今朝に於ける多門師團先發凱旋部隊の平驛通過に際して右手を失してる小名濱町出身工兵上等兵吉田義が午

# 磐中人國記　（六）

赤井嶽男記

◇井戸川山雀中尉

第三回生のスポーツ方面を語つた序に附記して置くが、廣田磐中敎諭及浪江町大場活版所の主人公と共に當時器械体操の三人男と云はれた故步兵中尉井戸川隆君（双葉郡長塚出身）は若松聯隊に居ても山雀と云はれた將校で、五尺そこ〳〵の倭小な体軀に惠まれた身輕さは正に天下一品、鐵棒上常に人間放れのした鮮かな逆立ちなどに部下の兵隊を呀と云はせたもんだそうな

## 日露戰線の勇士

◇死線突破の挿話

此際軍人關係を一ときまりつけて置かう。

岡部友睦（箕輪）國府田知二（飯野出身酒田町現住）渡邊貴一（大浦）の三君は一年志願兵の少尉として何れも日露戰爭に參加した。阿部氏は奉天で中隊長代理として戰線に活躍中ドンと一發まさしく胸部に一彈を受けたが、財布の五錢銅貨が身代りとなつて奇蹟的に助かつた。

國府田氏は之亦前面からヒューと一發頭部を見舞はれ、ハッと思つて帽子を取つて見たら彈は確かに貫通して中に入れて置いたハンケチが穴だらけになつて居た、腦天が少し腫れ上つてピリピリ疼む程度で別段怪我はなかつたが身長が今一寸高かつたら發矢と眉見を射貫かれて壯烈な名譽の戰死と云ふ處だつたらうと云つてゐる。

◇小野寛美補充兵

渡邊氏が出征當時、いま磐中を根城に宛然荒木又右衛門のやうな存在を見せてゐる劍道四段の小野寛美氏が補充兵の二等卒として其の配下に屬してゐたが間もなく休戰になつた——など回顧すれば茫々夢の如し、どれもこれも思ひ出の種ならぬは無い。

×

さらでだに所謂小兒病患者達から好戰的國民かのやうに云はれて居る今日ミリタリズムの皷吹でもあるまいが、戰さの話は老も若きも聽いて滿更氣持の惡くないもの、磐中人國記の一挿話として敢て附記する所以である

◇出世頭鈴木大佐

此外軍人方面と云へば矢張り一年志願の少尉で双葉郡大野村助役の松本治郎助（舊姓渡邊）石川町の神職吉田格三兩氏などを擧げる事になるが最初から生え拔きの軍人としては濱松衛戍病院付の陸軍三等軍醫正鈴木金次郎氏（双葉郡熊町村）と之の方面に於ける同期生中の出世頭として同鄕の猪瀨軍人兄弟と並び光つて居る內鄕出身の豫備海軍大佐、現浦賀船渠技師鈴木春五郎氏（逗子町現住）がある。

前記日露役出征の三少尉に關する材料は、某人國記擁護者の提供に係るもので厚くその厚意を感謝す。

# 强盜に黑髮を斷たれたと少女の訴へ

## 實は女優に憧憬れての虛僞の申立

## 張込んだ係官も呆れる

江名町江名漁業留吉長女吉本トモヨ（一四）假名—は昨六日午後四時頃同町地內道路を通行中突然背後より躍り掛つた年齡二十二三才洋服着の青年に捻じ倒され危く暴行を加へられんとしたので悲鳴を擧げ救を求めた處件の怪漢は鋭利な双物でトモヨの黑髮を根元から切り取つた上現金九圓入蟇口を强奪逃走したと平署に訴へ出たので素破一大事と刑事數名が現場に急行水も洩らさぬ警戒網を張つたが杳として犯人が知れぬばかりでなくトモヨの擧動に不審の點あるので嚴重追及すると右は眞赤な僞で映畫女優に憧憬れて從來再三斷髮を許してくれと兩親に强請したが頑として許されぬので自ら髮を切り一狂言を書いたものと判明したので係官も餘りの早熟さに呆れてゐた

# 不動産の低落から相續稅額激減

## 石城郡下昨今の比較

平稅務署管內の相續稅は五年度の一萬八千五百十四圓より六年度は九千四百五圓に減額したが課稅の標準たる物件中不動産の價格低落から今七年度は六千圓位に激減するものと觀られてゐる、因に課稅資格は家督相續五千圓以上遺産同上千圓からである

**。。。。。磐崎農事傳習會**　磐崎村農會主催の春蒔蔬菜農事傳習會は十九日午後一時から村役場で開く

# 前年同期に比べ日平均百噸の增

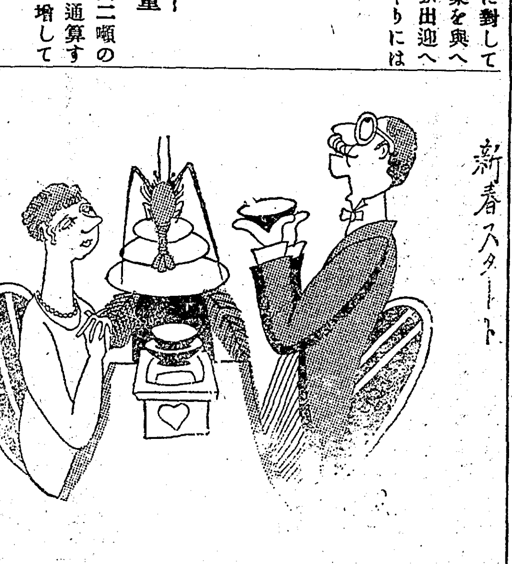
## 客臘中の常磐送炭量

客臘二十一日より三十一日に至る常磐炭山元發送旬報によると

營業用三、八〇三車　五〇、二六三噸　省用一、七四七車　二六、二〇四噸　計五、五五〇車　七六、四六七噸

で前年同期に比し營業用四、一五九噸の增加より省用の減一一七噸を差引き結局二七九車四、〇四二噸の增加を示し同月中を通算すると三、〇四一噸を增してゐる

**。。。。。四倉消防出初式**　四倉消防組出初式は六日午前八時より同町警察署前に於て根本署長の服裝檢閱、機械器具の點檢、後署長の訓示あり正午好成績裡に終了した




夫『おい、こりや水ちやないか、正月早々縁起でもない……』

妻『えゝ、さうよ。今年は水盃にして、死にもの狂ひにスタートを切つて頂きたいのよ』

夫『ウハー——』

# 苗木の暴騰から自力育成を計劃

## 平營林署の應急對策

平營林署では來三月より三ヶ月間に大植林を行ふべく昨年十月既に三十五萬本の苗木を三年生松五厘、檜一錢五厘、杉一錢二厘位で購入すべく大体契約したが各方面に於て行はるる匡救事業の植林關係で苗木が五割方騰貴したので其間購入上の違算を避くる爲平窪村に一町步の苗木養成をなすべく畑の借入方を交涉中である

# 自動車の賃金値上げ

## 一月から改正

既報—縣自動車協會平、植田、四倉三支部ではガソリン並に自動車部分品暴騰による料金の値上げに就て協議の結果一月から從來料金に對して二割乃至三割增す事となつた

# 自殺の遺書

## 青年家出

箕輪村大利農新八二男佐藤文彥（二九）は一昨五日夜現金百圓を持出し自殺する旨の遺書を殘して家出したが附近の情婦某と駈落したらしいと今七日實父から平署に捜索方を願ひ出た

**。。。。。茨城縣人會**　十四日午後五時から平町田町大貞で開く

**。。。。。赤井のヂフテリア**　赤井村赤井生田目榮太郎（九）は昨六日ヂフテリアと決定隔離された

# 山田勇太郎氏十日頃退院の見込

## 一時は絶望を傳へられた

前七十七銀行平支店長現宮城銀行專務山田勇太郎氏は疾毒にかゝり仙臺市元寺小路加藤外科病院に入院治療中であつたが一時は全く絶望を傳へられてゐたところ主治醫の努力が報いられて最近殆んど全治に近づき十

# 明夫轢かる

## 全治二週間の傷

去る四日湯本町天王崎片寄朝雄方運轉手木田忠助（三三）は平より湯本に向け內鄕村綴秋田地內國道を疾走中エンヂンに故障あるを發見修繕場に退行せんとした際同所の今村明夫（五）が突然右側より飛び出し車體に觸れ頭部に全治二週間の打撲傷を負つた

# 平區罰金一束

▽田人村大字生田蛭田卯太郎（三〇）は舊臘三十日午後六時頃同人方に於て近所の蛭田淸吾と口論の末淸吾の右手第五指に嚙付き一週間の傷害を與へ罰金五十圓、▽双葉郡木戸村字金剛川原關本直壽（三二）は去月二十日同字の關本久八郎に火箸を以て上膊部に全治五日の傷害を與へ罰金二十圓を、何れも平區から略式命令された

# 平町慶弔錄

△出生

立町一二夏井村山崎鼠門一一郡司吉男二男長伯

舊城跡二一中井淸記二男孝男

**舊十二月十三日　新一月八日　日曜**

甲戌　赤口　收　星宿

諸判定應需　東京市本鄕區湯島四丁目五番地　高島易斷總本部　神誠館

▲一白の人　身分に變動を起す兆の事は努めてさくべし▲二黑の人　目前の小利を離れ遠大の計を立つるに宜し▲三碧の人　龍も時を得ざれば地中にひそむ何事も焦るな▲四綠の人　こう勢に出でず靜を守り沈もくするが安全の策▲五黃の人　內を整ふる時は外は自然と平穩に歸すべし▲六白の人　山氣を離れ地味に働けば大吉日となるべし▲七赤の人　多少の不安はあるも結果は好き日たるべし▲八白の人　遲々たりとも寸進尺土を得るの心がまへが要す▲九紫の人　少しは失ふとも大の得らるべき日　奮勵肝要

御贈答に！　記念品に！！　諸景品に！！　漆器を!!!

專門の㊒は　親切第一　誠實勉强　在庫豊富

ドコヨリモ、ヨイシナヲ、ドコヨリモ ヤスクウル、ヌリモノミセ

平町三丁目（元郵便局裏通り）

各國産漆器專門卸小賣

店員募集　十三四才位、小店員　三十才位迄、外交員

㊒漆器店

毎度御ひいき有難ふ御座ゐます。

うなぎ御用命は　うなぎ　奴

平町田町（電話二二一番）

ホール御座敷の設備あります。皆樣の御立寄を！

人は武士…花は櫻よ　かをりは梅よ………　うなぎ料理は江戸川よ

うなぎに御用の節は！　是非專門の………　江戸川へ

平町二丁目　電話五四七

吉田眼科病院　平町紺屋町

夜間診療

胃腸　梅毒

內科　十二指腸虫病　專門　內科部

淋病　皮膚病　婦人病　專門　外科部

松村胃腸性病科醫院（平町南町電一〇七番）